

授業科目	*子ども学基礎演習(藤田)				単位	2		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	CH11401J		
開講年次	1	開講時期	通年	該当DP	DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	藤田 稔子							
授業概要	<p>この科目は、子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身につけることを目的としています。また、「人間関係形成・社会形成能力」を高めるために、少人数制の演習で、ゼミ毎に授業を行います。なお、2年次「子ども学特別演習」につながる科目です。履修カルテを用いて、2年間の学修の見通しを立てます。</p> <p>前期では、主に人間関係を深める活動を中心に行います。2年間の学びを支え合う仲間と共に、保育への学びの動機付けとなるような体験と学習を行います。</p> <p>後期では、子どもや保育に関わる活動や、絵本や読み聞かせの技術向上のための活動を中心に行っていきます。子どもや保育に関わる活動はゼミごとに行い、おはなし会の実施や各種行事への参加など学生が主体的に企画・実施を行う内容です。</p> <p>ゼミ活動の内容によっては、屋外や学外で行う場合があります。事前に必要な準備などを確認するようにしてください。</p> <p>また、この授業では前後期を通して「認定絵本土」に関わる内容が組み込まれています。資格取得を希望する人は必ず受講してください。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもや保育への理解を体験によって深め、保育の学びに対するモチベーションを高める 2. 少人数集団の中で、自己の役割を見出し、他者と協同しながら、行事の企画遂行ができる 3. 保育職に必要な「子ども観」を身につける 4. 保育における遊びやおはなしの重要性を理解し、実践することができる力を身につける 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	30	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			10			20	30	
態度(DP4-2)			10	10		10	30	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				20		20	40	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ゼミ活動においては、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝え、自己の役割を果たしつつ他者と協同して行事を成功に導くことができる。また、体験を通して学んだことを他の授業内容の理解に活かすだけでなく、自己課題として受け止め、実習やボランティアなど様々な場で積極的実践的に活かすことができる。				ゼミ活動に積極的に関わり、行事で自己の役割を見出し、仲間との協調を深められる。また、体験を通して学んだことを、他の授業や実習で関連付けながら理解することができる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:授業ガイダンス 「履修カルテ」を用いて、2年間の保育科の学びの全体像を知り、1年生前期の学修の見通しを立てる。	演習:全体→ゼミ	予習として、1年生前期で受講する授業のシラバスを読む 復習として、履修カルテを記入する	30
2	テーマ:「認定絵本土」オリエンテーション 「認定絵本土」の資格取得について学ぶ (認定絵本土指定講座)	演習:全体	復習として、認定絵本土について調べる。ブックトークに必要な絵本を探す。	30
3	テーマ:新入生レクリエーション 懇親を深めるためのレクリエーションを行う	演習:全体	振り返りレポートの作成	30
4	テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。 (ゼミ活動の時間を用いて、2年生ゼミ生と交流する時間があります)	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
5	テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
6	テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。	演習:全体	準備に必要な情報や物品を用意する	30
7	テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
8	テーマ:絵本を検索してみよう(図書課職員) 絵本の検索の方法について実際に体験しながら学ぶ (認定絵本土指定講座)	演習:全体	※スマホを必ず持参する 事後レポートの作成	60
9	テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
10	テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
11	テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
12	テーマ:ブックトーク、ビブリオトークをやってみよう(認定絵本土講座「絵本を紹介する技術1」) 子ども向けのお話しについて調べ、ゼミの人たちにおすすめの本を紹介する	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
13	テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
14	テーマ:後期に向けて一保育科で選択取得できる資格と取得の方法 後期の履修登録の準備として取得できる資格について学び、必要な科目を理解する	演習:全体	資格について自分で調べてみる	30
15	テーマ:前期のまとめ、履修カルテ作成 前期の学習を振り返り、履修カルテに記入する	演習:全体→ゼミ	履修カルテの確認	30

16	<p>テーマ:後期オリエンテーションと学びの計画 履修カルテを用いて、後期の学びの計画と目標を立てる。 次週の「おはなしの手法を学ぶ」の授業に向けて準備を行う。 後期のゼミ活動についてゼミごとに企画を行う</p>	演習:全体→ゼミ	事後レポート作成 次回の準備	60
17	<p>テーマ:おはなしの手法を学ぶ(1) (認定絵本土講座「おはなし会の手法1」) 外部講師による演習授業。「おはなし会」が企画・実施できる技術を身につける。</p>	演習:全体	事後レポート(おはなし会の企画書)作成	60
18	<p>テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。</p>	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
19	<p>テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。</p>	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
20	<p>テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。</p>	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
21	<p>テーマ:おはなしの手法を学ぶ(2) (認定絵本土講座「おはなし会の手法2」) 外部講師による演習授業。「おはなし会」が企画・実施できる技術を身につける</p>	演習:全体	準備に必要な情報や物品を用意する 「みんなの前で絵本を読みみよう」の回に向けた準備を行う。ゼミごとに企画書を提出する。	60
22	<p>テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。</p>	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
23	<p>テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。</p>	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
24	<p>テーマ:子ども向け活動に学ぶ (認定絵本土講座「ホスピタリティに学ぶ」) 外部講師による演習授業。子ども向け企画を行っている事業者による講話を聞く。</p>	演習:全体	事後レポート作成	30
25	<p>テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。</p>	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
26	<p>テーマ:みんなの前で絵本を読みみよう (認定絵本土講座「絵本の世界を広げる技術(ワークショップ)」) 外部講師による演習授業。絵本の読み聞かせを行うための技術を、実際に経験することで身につける</p>	演習:全体	事後レポート作成	60
27	<p>テーマ:ゼミ活動の時間 ゼミごとに分かれ、アドバイザーの指導のもとでゼミ活動を行う。</p>	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
28	<p>テーマ:ゼミ紹介、研究室訪問 2年生の「こども学特別演習」に向けての、ゼミの希望調査についての説明を聞く 希望するゼミの研究室訪問を行う</p>	演習:全体	ゼミの先生の話をもとめておく 自分が来年どんな活動がしたいか考えてまとめる	30
29	<p>テーマ:新ゼミ決定と顔合わせ 2年のゼミが決定し、教員と新しいゼミ生による顔合わせを行い、次年度のゼミ活動について話し合う。</p>	演習:全体	2年生でのゼミ活動でやってみたいことなどをまとめておく	30
30	<p>テーマ:後期のまとめ 履修カルテの記入を行い、一年間の学びを振り返る</p>	演習:全体→ゼミ	履修カルテの記入と確認	30

理解に必要な予備知識や技能	・絵本やおはなしに関する活動が度々あります。 絵本の紹介など、普段から子どものおはなしに興味を持ちましょう。1号館4階にある「絵本の部屋」や図書館などで調べておきましょう。
テキスト	なし
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	ゼミ活動でそれぞれ紹介します
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	常に「子ども」「保育」「遊び」などに関する書物、新聞、ニュースに関心を持ち、情報を蓄えておきましょう。 ゼミ活動は、学生の皆さんが「学びたいこと」を実践する場です。保育を学ぶ皆さんが、保育の実践力向上のためにゼミでやってみたいことなどがあれば、積極的に提案していきましょう。 学ぶ内容によっては、学外で授業を行う場合があります。スケジュールや事前の準備などを確認しましょう。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	ゼミ活動に参加すること自体に意義があります。欠席することなく、活動に参加してください。休まず主体的に参加することで科目の目標達成がされるよう授業構成を行っています。そのため、「その他」では授業へ積極的に参加する姿勢や他者と協力する態度を評価します。